

六 日 町 温 泉  
国民保養温泉地計画書

平成 29 年 9 月  
環 境 省



## 目次

1.	温泉地の概要	1
2.	計画の基本方針	2
3.	自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	3
4.	医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	4
5.	温泉資源の保護に関する取組方針	5
6.	温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	6
7.	温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策	7
8.	高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画	9
9.	災害防止対策に係る計画及び措置	11

## 添付

1. 国民保養温泉地位置図
2. 国民保養温泉地区域図

## 1. 温泉地の概要

六日町温泉は、越後三山と言われる八海山、中ノ岳、越後駒ヶ岳や百名山の巻機山など標高2000メートル級の山を望む魚沼盆地に位置し、町を二分するように鮎釣りでも有名な清流魚野川が流れる兩岸の東西に分布している。六日町温泉は昭和32年秋、天然ガスの試掘中に突然豊富な温泉が噴き出して以来、新潟県内有数の温泉地として広く知られるようになり、昭和39年に国民保養温泉地に指定された。

南魚沼は四季の色がはっきりとしている。新緑の春、暑い清々しい夏、冬の訪れを待つ紅葉に囲まれる秋、冬は全国でも有数の豪雪地であることから一面が白銀の世界へと変わる。その雪はこの地の自然や産業に大きな影響をもたらす恵みでもある。

また、日本一美味しいと言われる「南魚沼産コシヒカリ」を代表する農業を基幹産業としながら発展し、陸路の三国街道、水路の魚野川という交通網を活用した物資の集積地として魚沼地方の商業都市の機能も有してきた。

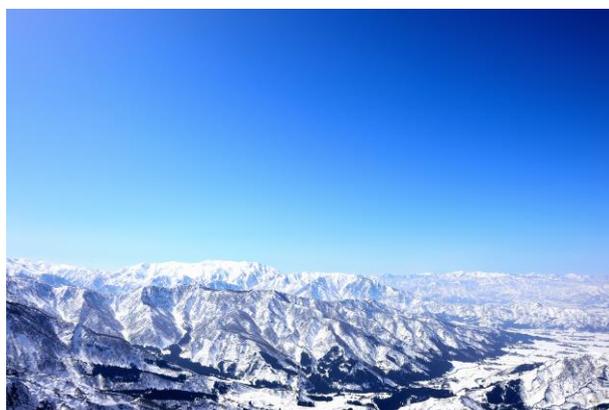
首都圏からの交通アクセスが優れており、関越自動車道のインターチェンジが六日町、塩沢、大和SICの3箇所、上越新幹線は浦佐駅がある。JR上越線は8駅があり、六日町駅は北越急行(株)が運営する「ほくほく線」の起点となっている。

2009年NHK大河ドラマに南魚沼市生誕の武将“直江兼続”を主人公にした「天地人」の放送が決定し、これを千載一遇のチャンスと受けとめた南魚沼市は、できるだけ多くのお客様からおいでいただくため、ドラマの放送内容に即した展示品を中心に「愛・天地人博南魚沼」を開催した。この「愛・天地人博南魚沼」を拠点に、坂戸山、坂戸城跡、直江兼続公伝世館、雲洞庵などゆかりの地にも43万人という多くの観光客が訪れ、南魚沼の風土・景観に触れて帰られる方が多く地域経済にとっては測り知れない効果をもたらし、現在も多くの観光客が訪れている。

六日町温泉は坂戸城（坂戸山）の麓に位置することもあり、多くの観光客に温泉にも親しんでもらっている。坂戸山は以前から地元民の朝晩の登山やトレッキングに親しまれていたが、近年では全国から登山客が訪れている。登山後の温泉利用を促進し、更に温泉の魅力を少しでも伝えようと温泉街周辺に無料の足湯を2か所設置し、坂戸山遊歩道の整備、公衆トイレの整備、上田長尾氏史跡公園整備を実施してきた。六日町温泉は、六日町の観光資源とともに成長を遂げてきた。



▲夏の南魚沼の田園風景



▲冬の南魚沼の様子

## 2. 計画の基本方針

六日町温泉の泉質は、ナトリウム - 塩化物温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）と単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）で、二種類の温泉を楽しむことができる。神経痛、関節痛、冷え性などに効能があり、優しい温泉であることから「家族の湯」「美肌の湯」と言われている。新潟県でも有数の湧出量を誇ることから観光客だけでなく、保養や療養を目的とした宿泊客にも多く利用されている。また、温泉宿には「温泉ソムリエ」がおり来訪者に温泉の情報や温泉の入浴方法を発信し、温泉好きを増やす取り組みに力を入れている。今後は、関東圏からのアクセスの良さや優れた交通の利便性を生かし、六日町地域の文化や歴史を大切に継承しながら、四季折々に色濃く変化をみせる豊かな自然環境と調和し、観光客だけでなく地元民からも親しまれる温泉地を目指す。

また、全国的なブランドとして美味しい「南魚沼産コシヒカリ」や「地酒」に加え、四季に特徴のある豊かな自然が身近に体験できるという魅力を活かし、物語性を付加したうえで情報発信することにより、より強固なブランド化を図る。

合わせて、近隣自治体の湯沢町や魚沼市を含む3県7市町村が連携した雪国観光圏地域と連携し、新たな資源の発掘・開発を進めるとともに、地域に散在する魅力ある観光資源を有機的に結び付け、広域的視点に立った観光振興を推進する。

現在雪国観光圏で取り組んでいるのが、「雪国ガストロノミー」というコンセプトのもと、収穫体験と料理体験を組み合わせた着地型ツアーの創出である。里山で「採るというアクティビティ」、地元住民と一緒に「作るという学び」、そして「おいしく食べる」という行為を複合的に体験するというもので、魚沼産コシヒカリのような地元食材とともに海外の観光客にブランディングを図る取り組みを行っている。

## 3. 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

### (1) 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

南魚沼市は首都圏から車でおよそ2、3時間の距離でありながら、北は越後三山只見国定公園、南は上信越高原国立公園、魚沼連峰県立自然公園が広がる美しい自然に恵まれている。地域の共通の財産である雪、山々、清流など四季折々の豊かな自然が息づき、春はコブシやカタクリの花と山菜狩り、夏はキャンプや川遊びで大自然田舎体験、秋は紅葉トレッキングとキノコ狩り、冬はスキー・スノーボードに温泉三昧とさまざまなアウトドアスポーツやレクリエーションが楽しめる。

歴史については、六日町温泉のある坂戸地区には国指定文化財である坂戸城跡がある。上杉景勝、直江兼続の居城として戦国時代、山全体が山城であった坂戸山。その山頂には、本丸上屋敷跡、中腹の中屋敷、山麓の城主館、家臣屋敷跡などが保存されている。現在山頂には、直江兼続の勧請により建立された「富士権現」の社がある。坂戸山は毎日多くの市民そして来訪者が訪れており、まさに老若男女に愛される山である。山麓には景勝の実父であり坂戸城主であった長尾政景の

墓があり、近辺には上杉景勝と直江兼統の生誕の碑も整備されている。坂戸山麓にある銭淵公園は、折々の花も含め市民や来訪者の憩いの公園である。

また、豪雪地である南魚沼地域で受け継がれてきた文化に織物がある。その昔、一年の半分近くを雪に覆われ、農作業はもちろん、家の外に出るのにも苦勞するほどの雪に囲まれたなか、女性たちは春が来るまでひたすら布を織り続けたという様子が江戸時代の文人・鈴木牧之の著『北越雪譜』に記載されている。そのなかでも、通気性に富み、さらりとした着味で夏物着尺としては最高級の麻織物である「越後上布」は染織部門では日本で初めてユネスコ無形文化遺産に登録され、日本のみならず世界から評価されることとなった。



▲上杉景勝、直江兼統レリーフ



▲坂戸城跡

## (2) 取組の現状

南魚沼市では平成17年6月に、南魚沼市の豊かな自然と共に生き、次の世代に力強くつなぐことを目標に「南魚沼市環境基本条例」を策定した。市民の健康で文化的な生活の基盤である健全な環境の維持及び向上を図るため、市、市民及び事業者の責任を明らかにするとともに、環境の保全に関し基本的な事項を定め、市民が健康で文化的な生活を営む上で必要とする良好な環境を確保することを目的としている。

南魚沼市環境基本条例に定める基本理念を実現するため、次の三点の基本方針を掲げている。

- 1) 環境汚染を防止し、健康で安全な生活環境の創造を目指します。
- 2) 森林や水、多種多様な動植物の豊かな自然環境との共生を追求し、地域の自然環境の保全と再生、ふれあいの推進を目指します。
- 3) 循環型社会の実現と資源・エネルギーの有効活用を推進するとともに、すべての主体の意識を醸成し、子ども達を育てる環境教育の体制構築を目指します。

これら基本方針を実現するための取組みとして、温泉街周辺住民、温泉利用事業者、その他の事業者から構成されるボランティア組織が、常時地域の美化清掃活動を実施している。国道291号線坂戸地区においては、ハナミズキの植樹、整備等

に積極的に関わり、美しい街道として訪れた観光客はじめ地元の人々の心をなごませる取り組みにも寄与している。

また、宿泊施設では日本一の米どころ新潟の美味しいコシヒカリをその土地の水で炊き、その土地で採れた食材で作ったおかずとともに食す、という究極の朝ごはんを召し上がっていただく「にいがた朝ごはんプロジェクト」に参加し、地域PRに取り組んでいる。また、日本酒と地域の食材（物産）の良さを発信するため、新潟地酒の宿に加盟し地域PRに取り組んでいる。

六日町温泉のおかみ会「雪あねさの会」と、地元の酒造メーカーの高千代酒造がコラボレーションして、六日町限定のオリジナル純米酒「ゆきあねさ」の開発販売を行うなど、地元の観光資源の積極的な発信を行っている。六日町温泉旅館組合では、銭淵公園や足湯「お六の湯」などで女将会を中心に来場者にお抹茶を出しながらのふれあいイベントも人気を博している。毎年「六日町温泉感謝の日」には地元八坂神社神殿において、各温泉利用施設から温泉を持ち寄り「湯合わせの儀」とり行い温泉の安全と利用者の安全を祈願している。この日は温泉を中心にして啓蒙運動を同時開催している。またこの八坂神社では戦国時代の地元盟主長尾政景によりはじめられたと言われる「婿の胴上げ」が開催される神社でもあり、一説によれば胴上げの起源の地とも言われている。

### (3) 今後の取組方策

六日町温泉において、さらに自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等を図るため、六日町温泉旅館組合をはじめ、六日町資源開発株式会社、六日町観光協会、六日町商工会などの関係機関、さらには地元行政区と連携、調整の上、(2)の取組を継続するとともに、坂戸山や魚野川など六日町温泉周辺の自然環境の整備や施設改修を適宜行う。

南魚沼市と六日町温泉旅館組合は共同で「温泉ソムリエ」を旅館従事者のみならず、市民にも知識共有を図るために講習会を開催し、温泉の良さを広げていく。

## 4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

### (1) 医師又は人材の配置状況

六日町温泉では現在、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材を配置していないが、今後、(2)に記載する通り、人材の配置及び育成に取り組む。

### (2) 配置計画及び育成方針等

六日町温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師を配置することとしており、その計画は以下のとおりである。

① 医師

氏名	専門分野	活動内容	配置予定年度
			H29年度

六日町温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師との連携のもと入浴方法等の指導を行う人材を配置することとしており、その計画及び育成方針は、以下のとおりである。

② 人材

人材	活動内容	配置予定年度	育成方針
温泉利用指導者	温泉施設において、健康増進及び疾病予防のための温泉利用を安全かつ適切に実施できるよう指導。	H29年度	平成28年度から順次、温泉入浴指導員の認定講習会を受講する。

## 5. 温泉資源の保護に関する取組方針

### (1) 温泉資源の状況

六日町温泉の泉質はナトリウム - 塩化物温泉と、一部地域に関しては単純温泉であり、現在3本の源泉が31旅館・宿泊施設と2軒の日帰り入浴施設に利用されている。

源泉名	温度(℃)	湧出量(ℓ/min)	湧出状況	所有者	泉質	利用施設
六日町温泉第13号	56.4	730	動力	民間	ナトリウム - 塩化物温泉 (低張性弱アルカリ性高温泉)	
六日町温泉第14号	58.6	530	動力	民間	単純温泉 (低張性弱アルカリ性高温泉)	4施設
六日町温泉第15号	52.5	720	動力	民間	ナトリウム - 塩化物温泉 (低張性弱アルカリ性高温泉)	
六日町温泉第13・15号	54.5	1450	動力	民間	ナトリウム - 塩化物温泉 (低張性弱アルカリ性高温泉)	29施設

### (2) 取組の現状

六日町温泉では、温泉を枯渇させることなく永続的に利用するため、以下のとおり管理を行っている。かけ流しの温泉の為、季節の変化等により無駄なオーバー泉の流失を抑える作業を常時行っている。

源泉名	取組	実施主体
六日町温泉 第13号	温泉分析調査（温度・湧出量・成分等）を法的年数で実施	源泉所有者
	源泉タンクの清掃は不期に実施・消毒・殺菌を年1回実施	源泉所有者
六日町温泉 第14号	温泉分析調査（温度・湧出量・成分等）を法的年数で実施	源泉所有者
	源泉タンクの清掃は不期に実施・消毒・殺菌を年1回実施	源泉所有者
六日町温泉 第15号	温泉分析調査（温度・湧出量・成分等）を法的年数で実施	源泉所有者
	源泉タンクの清掃は不期に実施・消毒・殺菌を年1回実施	源泉所有者

### （3）今後の取組方策

六日町温泉では3箇所の源泉を適正に管理していることから、源泉の湧出状況が突発的に変化することは考えにくいですが、（2）に掲げる現状の取組を継続し、温泉の湧出状況の把握に努める。

また、現在使用している抑揚ポンプや配管等は老朽化が進んでいるものは、随時、交換作業を行っていく。

## 6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

### （1）温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

六日町温泉において温泉の利用（浴用利用のみ）に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は、以下のとおりである。

源泉数	設備及び利用の状況	浴用利用施設数
3	引湯管、貯湯槽、配湯ポンプ、配湯管、給湯管、浴槽	33

### （2）取組の状況

六日町温泉において、温泉利用に当たって使用している設備について、現在行っている衛生面での取組の状況は、以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	源泉について、温泉分析調査は法的年数で実施し、揚湯管等の検査は4～5年毎に点検引き揚げ	源泉所有者
引湯管	自主的	引湯管について、バルブやドレン等の点検、清掃、消毒を不定期に実施	源泉所有者
貯湯槽	自主的	すべての貯湯槽について、清掃及び消毒を年1回以上実施	各旅館施設 源泉所有者
配湯ポンプ	自主的	点検を週3回以上の実施	源泉所有者
配湯管	自主的	スケール防止に努め、ドレンバルブにより排泥掃除を約3ヶ月1回実施	源泉所有者

給湯管	自主的	薬剤注入によりスケール防止を実施	各旅館施設
浴槽	自主的	<b>【循環式浴槽】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浴槽水の水質管理と消毒</li> <li>・ 浴槽水は1年に2回以上水質検査を実施</li> <li>・ 浴槽は1週間に1回以上完全換水、清掃を実施 (ろ過機を使用していない循環式浴槽は毎日完全換水、清掃を実施)</li> <li>・ ろ過機は1週間に1回以上逆洗浄等により汚れを除去、消毒を実施</li> <li>・ 1年に1回以上、配管等設備内の生物膜の状況を監視、消毒による除去</li> </ul>	各旅館施設
設備周辺	自主的	すべての設備周辺について、管理者を置き清掃の徹底による衛生保持	各旅館施設

### (3) 今後の取組方策

六日町温泉において、さらに温泉を衛生に保つため、実施主体と調整のうえ、(2)の取組を継続していく。また、現在使用している源泉及び引湯管等は老朽化が進んでいるものは、今後部分的な修理または交換を検討する。

## 7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

### (1) 温泉の公共的利用の状況

六日町温泉は魚野川沿いの坂戸温泉地区と、八箇峠東麓の西山温泉地区など町中全体に温泉宿がありタイプの違うそれぞれの楽しみ方が出来る。

六日町温泉以外でも南魚沼市内には13もの温泉地が点在しており、それぞれ特長ある温泉が楽しめることから、年間を通して多くの観光客が訪れている。

#### ① 過去3年間の温泉の利用者数 (単位：人)

年 度	宿泊人数	日帰り人数	合 計
平成24年度	238,340	77,050	315,390
平成25年度	249,750	80,790	330,540
平成26年度	255,130	82,300	337,430

② 直近1年間（平成27年度）の温泉の利用者数

区 分	施設数	総定員	利 用 者 数				
			4月	5月	6月	7月	8月
宿 泊	22		10,970	17,510	13,180	18,490	40,990
日 帰	22		5,540	4,200	5,000	3,480	3,900
合 計	22		16,510	21,710	18,180	21,970	44,890
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18,220	24,950	19,050	14,330	28,680	27,150	24,120	257,640
2,450	3,920	5,470	8,850	12,390	13,160	10,520	78,880
20,670	28,870	24,520	23,180	41,070	40,310	34,640	336,520

(2) 取組の現状

六日町温泉において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組みの状況は、以下のとおりである。

取 組	実 施 主 体
温泉ソムリエによる温泉利用者への入浴方法や温泉の優位性告知及び温泉に対する情報の案内	六日町温泉旅館組合 上の原事業協同組合
インターネット・パンフレット・広告等により、首都圏はじめ県内のマスコミ、旅行会社などに対して宣伝広告を行い、六日町温泉をアピール、周知	六日町温泉旅館組合 南魚沼市観光協会 六日町観光協会など
六日町温泉感謝の日や、温泉旅館組合主催の地元を中心に各企業、団体、個人との親睦や情報共有のための会合を開催	六日町温泉旅館組合 上の原事業協同組合
六日町温泉旅館組合、女将会「雪あねさの会」と地元酒蔵「高千代酒造」との協力コラボレーションでオリジナル日本酒「雪あねさ」の製造・販売を通じた宣伝誘客	六日町温泉旅館組合  六日町観光協会
銭淵公園観桜会における女将会のお抹茶サービス時の観光客、来場者へのおもてなしと宣伝	六日町温泉旅館組合
湯めぐりチケットを使った温泉の周知	六日町商工会 六日町温泉旅館組合
春の花（特にかたくり群生地や山野草）と美術館をコラボした商品造成と販売における誘客宣伝	六日町観光協会 六日町温泉旅館組合
夏の田舎体験、冬のかまくら祭等の誘客における首都圏を中心に広告宣伝	六日町温泉旅館組合

(3) 今後の取組方策

六日町温泉において、さらに温泉の公共的利用の増進を図るため、温泉の適正な利用を進めるとともに、環境の保全、環境配慮に努めながら、同温泉を象徴する魚野川や坂戸山といった自然資源や、六日町に縁のある武将、長尾政景直江兼続に関する歴史的な建造物・風俗・文化といった資源を保全・活用する温泉地をめざし、実施主体と調整の上、(2) の取組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取組みを進める。

取 組	実 施 主 体
温泉入浴指導員を養成し、各施設で適切な利用指導が行えるようにする。	六日町温泉旅館組合 上の原事業協同組合
温泉ソムリエを各施設で増員するとともに市民からも応募を募り、有資格者を増員し、より温泉の理解を深める取組みを実施	六日町温泉旅館組合 上の原事業協同組合
六日町温泉の歴史や地域の歴史を既存の施設等を使って更に広める展示物等で広報	六日町温泉旅館組合 上の原事業協同組合

8. 高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

六日町温泉における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

区分	施 設
公有施設	道路（国道 17 号線、国道 291 号線、県道 131 号線、市道）、遊歩道、足湯、公園、公共用トイレ、南魚沼市図書館
私有施設	旅館（33 施設）、宿泊施設（2 施設、温泉未利用）、老人ホーム施設（2 施設）、JR 上越線六日町駅、ほくほく線六日町駅、関越自動車道六日町 I C

(2) 取組の現状

六日町温泉において、高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取組みの状況は、以下のとおりである。

区 分	施 設	取 組	実施主体
公有施設	道路	豪雪地帯であることから、冬期には道路・歩道の除雪をこまめに行い、高齢者等の通行に配慮している。	南魚沼市

	公園	道路からの進入路の段差解消や敷地内に東屋・ベンチ・スロープの設置を行っている。 公園内のトイレには、障がい者用のスペースも設けてある。 豪雪地のため冬期は使用できない。	南魚沼市
	建築物	足湯を2か所設置。冬期は足湯周辺の雪かきをし、通年で利用できるようにしている。また、南魚沼市図書館内については、段差の解消とエレベータの設置により高齢者等に配慮している。	南魚沼市
	遊歩道	雑草の刈払いを徹底し危険箇所を明確にするとともに、ロープ設置、段差修繕など高齢者等の安全利用に配慮している。	南魚沼市
私有施設	建築物	道路からの進入路や館内について、スロープ化し高齢者等の利用に配慮している。 英語のみならず、多国語による入浴案内等を掲示している。	所有者
	鉄道	道路からの進入路の段差解消やエレベータを設置し、高齢者等に配慮している。	所有者

### (3) 今後の取組方策

六日町温泉において、さらに高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取組みを進める。

区分	施設	取組	実施主体
私有施設	建築物	館内の手すり及び身障者用トイレの設置を行い、利用しやすい環境整備の協力を依頼する。 外国人観光客への3ヶ国語表示(英語・中国語・日本語)の案内看板の設置の協力を依頼する。	施設所有者

## 9. 災害防止策に係る計画及び措置

### (1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

六日町温泉は、新潟県南部の魚沼盆地に位置しており、中央を南北方向に流れている1級河川の魚野川がある。これまでに六日町温泉地内で発生した災害については、昭和56年に台風15号の影響で水害があり、道路冠水、家屋の床上浸水・床下浸水の甚大な被害があった。平成23年には新潟・福島豪雨災害が発生し、同じく道路冠水、家屋の床上浸水・床下浸水の甚大な被害があった。

### (2) 計画及び措置の現状

六日町温泉において現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

計画又は措置	計画又は措置の概要	実施主体
土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき、2箇所が土砂災害警戒区域、3箇所が土砂災害特別警戒区域に指定され、地域防災計画において、区域ごとに警戒避難体制に関する事項を策定	新潟県 南魚沼市
南魚沼市水防計画	魚野川に洪水予報区間を設定し、国土交通省、気象台と共同で洪水注意報・警報等の情報を発表	新潟県 南魚沼市
河川防災情報システム	新潟県土木部、国土交通省、気象庁で観測している水位・雨量・ダム情報を提供	新潟県
南魚沼市地域防災計画	土砂災害ハザードマップ、洪水ハザードマップの配布、防災無線の屋外拡声装置の設置及び携帯メールでの災害情報の提供等を実施	南魚沼市
自主防災組織	行政区ごとに自主的な防災訓練、勉強会等を実施	行政区
自動体外式除細動器	自動体外式除細動器（AED）を設置	施設所有者

### (3) 今後の取組方策

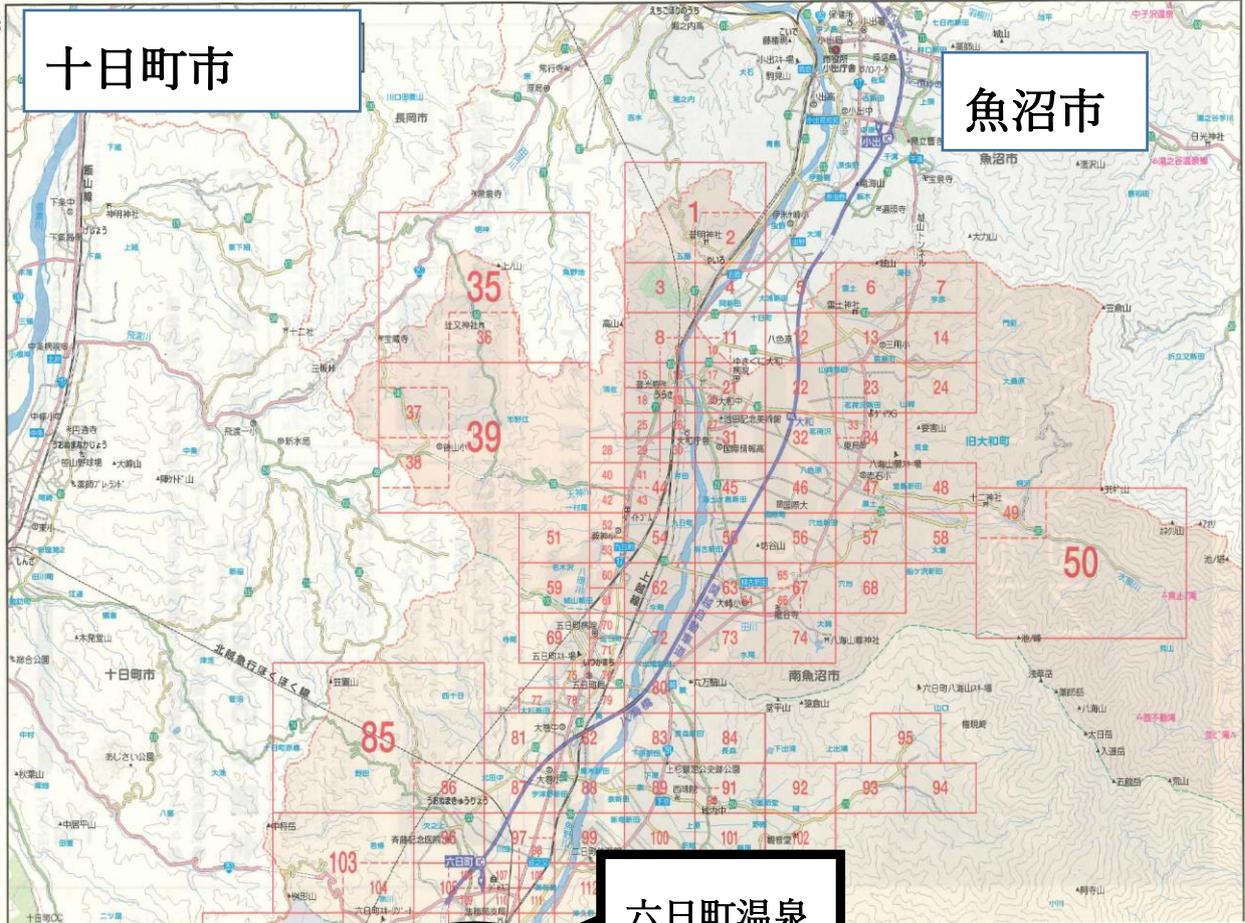
六日町温泉において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整のうえ、(2)の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

取 組	実施主体
土砂災害ハザードマップ、洪水ハザードマップを各施設に掲示し、施設所有者及び利用者に周知する。	施設所有者
自動体外式除細動器（AED）の設置に努める。	施設所有者

# 新潟県南魚沼市国民保養温泉地位置図

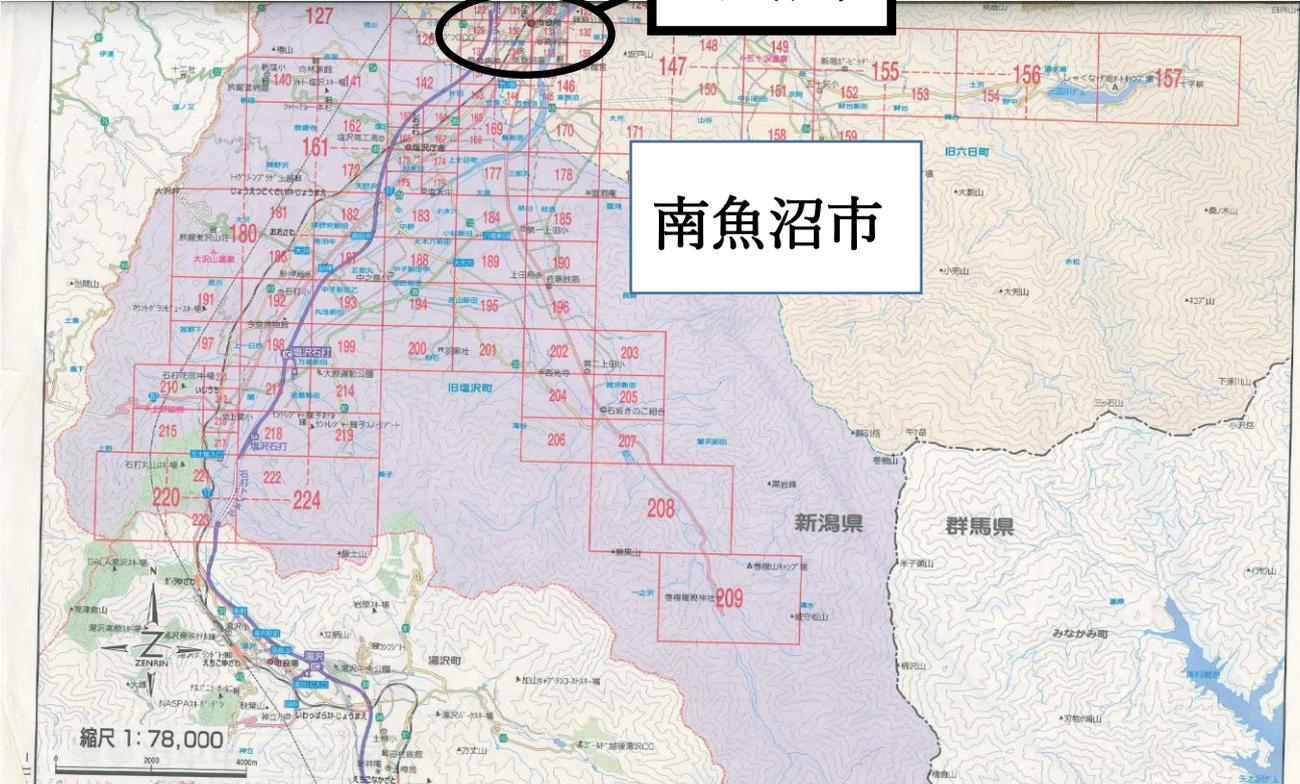
十日町市

魚沼市



六日町温泉

南魚沼市



縮尺 1:78,000

# 新潟県南魚沼市国民保養温泉地域図

